

梅雨が明け、本格的な夏の到来となりました。

今年度は5月以降新型コロナウイルス感染症の5類移行と期を同じくして、ほほえみを利用するお子さんも増加傾向で、年度初めの集団生活疲れとも重なり、上気道炎のほかに6月にはヘルパンギーナ・手足口病もよくみられるようになっていきます。全国的に見てもRSウイルス感染症と合わせて罹患率が上がっており、これからも新型コロナと同様手洗いや換気・消毒などの基本的な感染症対策を継続していかなければならないと考えています。

先日、平田保育会では新任職員を対象に、予防接種研修会を行いました。講師は小児科医師の及川馨先生で、「保育所における感染症対策」と題して、主な感染症の症状や対応、登所の目安などについてお話していただきました。保育所のような集団生活の場では、感染症が広がりやすいリスクがあります。メリハリのある予防や早めの対策と、予防接種は受けることができる年齢(月齢)に達したらスケジュールに沿って接種されることをお勧めいたします。

これからまだまだ暑い日が続く熱中症も心配されます。特に小さいお子さんは重症化しやすいですので気をつけたいですね。日々のお子さんの体調のことで、心配なことやわからないことなどありましたらお気軽にご相談ください。

## 全国病児保育研究大会に初参加！

7月16日(日)～17日(月)の2日間、鹿児島市において「全国病児保育研究大会」が開催され、高木保育士が参加しました。保育型委員会のグループディスカッションで「ほほえみメモリー」の取り組みを発表したところ、オブザーバーとして参加されていたつくば国際短期大学教授の桜井ますみ先生からとても良い取り組みであるとコメントしていただきました。

保護者の皆様や各保育所の職員の皆様には、この取り組みに引き続きご理解とご協力をいただき、今後も是非継続していきたいと思っています。



夏本番の熱さ、車でのお出かけが大変な時期となりました。特にチャイルドシートは、直射日光で高温になり、子どもの熱中症が心配ですよ。

さて、炎天下にさらされた車の中の温度は、いったい何度になるのかご存じですか？ JAFの行った実験では、気温35度の中、4時間放置した時のダッシュボードの最高温度は79度、車内温度は57度だそうです。エアコンを作動させてもダッシュボードは61度、車内は27度までしか下がりません。エンジンを停止させると、わずか15分で危険レベルに達してしまいます。人間の生存できる環境とは言えません。

「今からお出かけ」という際に、すぐに赤ちゃんを車に乗せていませんか？ エアコンを作動させても、すぐに涼しくはなりません。安全のために後ろに乗せたチャイルドシートも、高温になってすぐには下がりません。エアコンの冷気も届きません。楽しいはずのお出かけが、危険なお出かけになってしまいます。そんな夏の暑さ対策に焦点を当てて考えました。

お子さんを車内に残して、車から離れることは絶対にやめましょう。



### 1. 車内温度を上げない。

ダッシュボードの温度を上げないように、フロントガラス(前面の大きなガラス)にサンシェードを設置します。出来ればその他の窓にも、サンシェードを忘れずに。また、チャイルドシート自体にもかけておくとうれいでしょう。白いバスタオルでもOKです。

### 2. チャイルドシートの温度を上げず、保冷剤で冷やす。

お出かけの前には、大き目の保冷剤をタオルで巻いて、背もたれ部分と、お尻の部分に置き冷やしておきます。子どもを乗せる直前に外すと、チャイルドシートの温度を下げることができます。保冷剤の代わりに500mlのペットボトルに水を入れて、凍らせたもので代用したり、冷却スプレーをかけても良いそうです。

### 3. 車内温度を下げておく

子どもを車に乗せる10分前には、車内のクーラーをつけて冷やしておきましょう。その際にクリップファン(クリップ式扇風機)を後部座席の上部に取り付け冷気を回すとよりいいでしょう。



### ほほえみほっこりエピソード①

高熱で利用していたNくん。体調不良もあって、なかなか食事が入りませんでした。職員が食べさせてあげようとしても「いや」と首を横に振られ、水分も取れず、どうしようかなあと思っていました。その時、同室にいた年中のTくんが「ぼくが食べさせてあげる」とNくんに食べさせてあげると、Nくんはパクパクと食べ始められました。TくんはNくんが食べやすいように、飲み込むのを待ってあげたり「これがいい？」と優しい声掛けをしてくれて、Nくんは給食をしっかりと食べることが出来ました。NくんはTくんにすっかり懐いて、その後はどこへ行くにもTくんに付いていっていましたよ。子ども同士のあたたかいやり取りにほっこりしました😊

はい、あーん



### ほっこりエピソード②

ほほえみでは、保育中の様子を写真に写して「ほほえみメモリー」として帰りに保護者さんにお渡ししています。先日、保育所の先生から「Sくんがほほえみメモリーの写真を見ながら一生懸命お話してくれました。ほほえみでの様子がよくわかりました。」との言葉がありました。病氣中はつらいこともありますが、ほほえみメモリーがSくんにとって、楽しく見返せる思い出になっていることと、ほほえみから保育所へお子さんの様子を伝える大切なツールであることを改めて感じました。



今年度は7月8日に見学会と合わせのびのび・ほほえみまつりを開催予定でしたが、梅雨末期の豪雨と重なり残念ながら中止となってしまいました。そのかわりとして、7月24日(月)から8月10日(木)にかけて駄菓子つかみ取り&見学会を企画し、多数のご家族にお越しいただいております。来年こそは賑やかに開催できることを願っています。チラシを各保育所においていますので、まだお越しでない方はどうぞ。

また、見学・登録の希望はいつでも受け付けておりますので、お気軽にご連絡ください。

何が取れるかな？



たくさん取ったよ！



スタッフです♡



8月14日(月)、15日(火)、16日(水)  
ほほえみは休所します。